

にけーしよん



7/4 DE・あ・い・七夕まつり

DE・あ・い・21で、毎年恒例の「DE・あ・い・七夕まつり」が開催されました。特設ステージでは高校生から壮年グループによるアマチュアバンド5組の演奏があり、イベントを盛り上げてくれました。夜市ではカツオのハンバーグや「由良の媛っ子地鶏」の焼き鳥など特産品が出品され、館内では巨大そうめん流しやスイカ割りなどが行われました。晴天に恵まれたこの日は、約450名の来場者で大いに賑わいました。

6/27

「愛南ウオッチングに参加して」



浦和家墓所



網代魚類製造家屋



家串若宮神社

先日、第1回目の愛南ウオッチングに参加して、内海地域の海岸集落を探検しました。由良半島の自然は豊かで、すべてのものを穏やかに包み込み、人の心を再生させる魅力ある「ふるさと」だと思います。

家串の「内海海洋資源開発センター」では、真珠貝養殖の資材がそのまま使えるヒジキの養殖について学びました。産業が低迷する愛南町にあって、新産業として期待できそうです。

家串公民館では、由良の鼻にある戦争遺跡「由良衛所」についての説明を受けました。豊後水道に侵入する敵の潜水艦を早期に発見するために作られたもので、各種遺構が広大な跡地とともに現存しているそうです。藤田儲三講師によると、多くの労力をかけて建設したものの、実際には戦争に役に立たなかったというので、戦争の愚かしさを改めて知りました。

午後からは、網代の魚類製造家屋と浦和家の墓所を見学しました。漁業で巨万の富を築いた浦和家はすでに網代にはなく、歴史の儚（はかな）さを感じさせます。歴史の光と陰を伝えるこの建物は、ぜひ後世に残したいものです。

昼食は持参した弁当を頬張りながら、初夏のルビーと言われるサクランボのおすそわけをいただいたのも思い出となります。そして、参加者の布山信子さんにインタビュ。

「新しい発見があり、新しい友達が出来て良かったです。」

愛南ウオッチングはまだまだ続きます。私たちの知らない愛南町はたくさんあります。皆さんもぜひ参加して、新しい愛南町を再発見しませんか。

広報編集委員 橋本百代(蓮乗寺)

愛南こみゆ

6/18 まちを花いっぱい!

一本松女性団体連絡協議会(森岡眞由美代表)等22名が、オレンジロード(国道56号線)沿いの花壇や一本松公民館の花壇などに、ポチュウカやファリナセアなど約3500本の草花を植えました。

また午後からは、篠山中学校生徒教職員等21名が、正木地区の県道沿い花壇に、花と夢咲く県境の町推進委員会(二神紀久雄代表)の指導により、ヒャクニチウなど700本の草花を植えました。



6/18

歩いて学ぼう!ふるさとの歴史 深浦公民館

深浦小学校の全校児童22人を対象に、深浦地区の歴史を歩いて学ぶ「ふるさと深浦再発見ウォッチング」が行われました。案内役は、同地区の老人クラブ(橋本憲之会長)と行政協力員の有志の皆さんです。児童は、自分たちの身近にはあっても普段は知ることがない地区の歴史の説明について、熱心に耳を傾けていました。また、最後に深浦公民館では、昔話交流会が開かれ、深浦地域婦人会(藤田啓子会長)が手作りしたおやつを食べながら、お年寄りから昔の遊びや暮らしについての話を聞いたり、質問をしたりして、お年寄りと交流を深めながら楽しいひとときを過ごしました。



6/21 愛で紡ぐチャリティーコンサート

広報あいなん6月号でご紹介した、本町緑出身の谷口礼奈さんの「愛で紡ぐチャリティーコンサート」が、御荘文化センターで開催されました。

第一部では「この道」、「朧月夜」など心に残る日本の歌を、第二部ではオペラ「ジャンニ・スキッキ」より数曲を、素敵な歌声で披露していただきました。

小さい頃から歌うことが大好きだった谷口さん。小学校の時に歌のテストで声がひっくり返ってしまい、みんなに笑われて自信をなくしたこともありましたが、当時の担任の先生に「声がひっくり返るのは歌がうまくなっている証拠よ」とはげましてもらい、それが歌手をめざすきっかけとなったそうです。

これからも子どもたちが、谷口さんのように夢をもって育つことのできる愛南町であり続けたいものです。



6/26

わたしも裁判員!?正木公民館生涯学習講座

正木公民館で「夏季の生涯学習講座」の一環として、松山地方検察庁の職員を講師に招き、初めて裁判員制度の学習会が開催されました。篠山中学校生徒9名と地元婦人会や老人クラブなど約40名が参加し、制度の目的や裁判員となるまでの流れ、裁判員となった場合などアニメーションを使ったわかりやすい説明に、熱心に耳を傾けていました。

